

南青の四子中一子
澤田の四子中一子
安田の四子中一子

御名

一 年般版籍奉還之儀、中深ク時勢
 被爲察廣、ノ公議、ヲ被爲採、政令
 歸一之思、食ヲ以言上之通被
 聞食候事

赤丹

行政官

神原侍従

高田藩知事

被

一

天

子

北自傳事

朱印

明治二年己巳六月

有政己巳六月
自監

一 邦の事...
一 小島...
一 書...
一 引...
一 花...
一 武...
一 中...

一 高田書院主人送 後山先生

老翁為語多感 敬謝

但望年長無恙 尚好為文

一 友人侯某收之 乞在出

一 馬房裏馬車 由車外由車內

一 後山先生 肉肉茶餘

有通 後山先生 甫知

廿日 李吉

一 何某家所 為其月知可也

一 中門之內 為其月知可也

一 有以解而 為其月知可也

一 為其月知 為其月知可也

今敎高國藩部事。上諭。
仰見楊鍾正欲以道台為
麻卡以是通用明古者為
形以標之也且印板之面
以是通用而西形以是使
老中以其為東之方為其
出也

音訪

師國名

但亦不持衆多之面之不平獲方所然之於其
一五十五分時是之也刊限快信至他出帳此

恨即自碎
岩寺寺

一、山岩穴、送財乃能取海、送財能取海、

一、古今爲一理，通乎一理，而中一義，其始末亦一。

一解曰：書者，以什目為系，以如召為屋，
為市，楊采為市，系無社，市指為界，月

中上條通、以內全、以、
 但、
 中上條通、以內全、以、

上書陸道南使臣何方以居常而抱子

本系由原形内所仿立乃即方多礼
即系初多即内月以而主因方以是事作也
一 仍多因多事多事多事
一 月内多事多事多事多事
一 土田名方多事多事多事多事
一 月内多事多事多事多事

市日

注

一 市日活休多事多事多事多事
一 市日活休多事多事多事多事
一 市日活休多事多事多事多事
一 市日活休多事多事多事多事
一 市日活休多事多事多事多事

[illegible][illegible]

一 には付て出休するに休むる事なり
 二 には付て出休するに休むる事なり
 三 には付て出休するに休むる事なり
 四 には付て出休するに休むる事なり
 五 には付て出休するに休むる事なり
 六 には付て出休するに休むる事なり
 七 には付て出休するに休むる事なり
 八 には付て出休するに休むる事なり
 九 には付て出休するに休むる事なり
 十 には付て出休するに休むる事なり

一 には付て出休するに休むる事なり
 二 には付て出休するに休むる事なり
 三 には付て出休するに休むる事なり
 四 には付て出休するに休むる事なり
 五 には付て出休するに休むる事なり
 六 には付て出休するに休むる事なり
 七 には付て出休するに休むる事なり
 八 には付て出休するに休むる事なり
 九 には付て出休するに休むる事なり
 十 には付て出休するに休むる事なり

[illegible]

一、為母憂八病之方。西醫藥部不取。

[illegible]

李 青

研學紀念
 卅九年九月廿五日劉銘

以夜門括之其印

[illegible]

市

法

[illegible][illegible]

[illegible]

廿七日
六三書

[illegible]

竹枝歌
竹枝歌
竹枝歌

[illegible]

[illegible]

宋付と出伏席
此新木
知あゆと出伏席
表出と出伏席

巾山平庵先生所著詩集卷之五

一、大分市の中野町の町長、中野町長、
中野町長の署名を、中野町長の署名を、

一、本廿乃市客欣之、由冠并來物、
必蒙の刻、是所此、而、中、有、百、市、中、有、以、
中、有、以、

[illegible]

一 漢の武帝が、
下りの道を
一 九の武帝が、
物と云ふは、
我々の世に
中世三行

十八

藤原

一 内七本付と云
日なま
一 天竺の
中世三行
中世三行

書寫此卷之序
今來書寫此卷之時

此卷之序

此卷之序

此卷之序

此卷之序

此卷之序

此卷之序

此卷之序

此卷之序

此卷之序

此卷之序

此卷之序

一 舊唐書地理志云交州府山在交州府
之南中流經海峽而南其水出於山

一 依唐書地理志云交州府山在交州府
之南中流經海峽而南其水出於山
一 依唐書地理志云交州府山在交州府
之南中流經海峽而南其水出於山
一 依唐書地理志云交州府山在交州府
之南中流經海峽而南其水出於山

一 明史地理志云交州府山在交州府
之南中流經海峽而南其水出於山
一 明史地理志云交州府山在交州府
之南中流經海峽而南其水出於山
一 明史地理志云交州府山在交州府
之南中流經海峽而南其水出於山

一 明史地理志云交州府山在交州府
之南中流經海峽而南其水出於山
一 明史地理志云交州府山在交州府
之南中流經海峽而南其水出於山

一 明史地理志云交州府山在交州府
之南中流經海峽而南其水出於山
一 明史地理志云交州府山在交州府
之南中流經海峽而南其水出於山

赤九日

木口書

一 廣龍山寺の佛位を内介とす。其別業
を承継す。
一 以存信の所極するを也。即此寺の時傳
を承継す。其力直に直に其時傳を承
継中。其門守とす。其業を承継人。其他は
其家業を承継する。其業を承継す。其
業を承継す。其業を承継す。其業を承継す。

中書

一 其寺の時傳を承継す。其業を承継す。
其業を承継す。其業を承継す。其業を承継す。
一 其寺の時傳を承継す。其業を承継す。
其業を承継す。其業を承継す。其業を承継す。
一 其寺の時傳を承継す。其業を承継す。
其業を承継す。其業を承継す。其業を承継す。
一 其寺の時傳を承継す。其業を承継す。
其業を承継す。其業を承継す。其業を承継す。

多めつて各所に出

一 郡山校之田舎の塾校 有るを以て政令

一 中津校は近頃より各所へ通入あり

一 一養を各所校に切力別校に收束あり

一 郡山校は郡山にあり

一 中津校は中津にあり

一 長門校は長門にあり

一 佐賀校は佐賀にあり

一 佐賀校は佐賀にあり

郡山校は郡山にあり

中津校は中津にあり

長門校は長門にあり

一 長門校は長門にあり

一 佐賀校は佐賀にあり

一 佐賀校は佐賀にあり

一 佐賀校は佐賀にあり

一 佐賀校は佐賀にあり

一 佐賀校は佐賀にあり

一 佐賀校は佐賀にあり

一 東に海色に列敷 五五枚に休庵と記す
此より所載の遺文は五五に五國の即春
宮城天皇の御遺言に五五に休庵と記す
此より所載の遺文は五五に五國の即春
宮城天皇の御遺言に五五に休庵と記す
此より所載の遺文は五五に五國の即春
宮城天皇の御遺言に五五に休庵と記す
此より所載の遺文は五五に五國の即春
宮城天皇の御遺言に五五に休庵と記す

一 此の所載の遺文は五五に五國の即春
宮城天皇の御遺言に五五に休庵と記す
此より所載の遺文は五五に五國の即春
宮城天皇の御遺言に五五に休庵と記す
此より所載の遺文は五五に五國の即春
宮城天皇の御遺言に五五に休庵と記す
此より所載の遺文は五五に五國の即春
宮城天皇の御遺言に五五に休庵と記す

月夜抄

室

13

8

料

上越教育大学附属図書館



F81192432